

地域の温かい心に支えられて

羽合小学校では、多くの地域ボランティアの方に支えてもらっています。現在は新型コロナウイルスの関係で中断していますが、毎週火曜日には「夢の玉手箱」の皆さんに読み聞かせをしてもらっています。朝の登校時には、多くの子ども見守り隊の方に交差点等の危険箇所には立っていただき、安全指導を行ってもらっています。またこれから始まる「ゆりはま自主学习の広場」にも、学習支援ボランティアの方にお世話になります。

家庭科のミシンを使った学習や、習字の学習に学習支援ボランティアの方に入ってもらったり、PTAで行う除草作業にホエホエ隊が加わってくださったりしてもらっています。多くの皆様の協力をいただきながら学校生活が送れることに感謝しています。



マスクを寄付していただきました



5月13日、羽合地区に住んでおられるという方が、夕方学校に来られ、「羽合小学校ではマスクが不足していませんか。学校でこのマスクを使ってください。段ボールの中に2000枚のマスクが入っています。」と言われ段ボールを渡されました。何度も名前をお聞きしたのですが、名乗られることはなく帰られました。

とても温かい気持ちになりました。地域の方に温かく見守られ、支えられていると強く思った出来事でした。このマスクは子どもたちに紹介した後に大切に使いたいと思います。どなた

か存じませんが、本当にありがとうございました。

アロハ委員会が始動

羽合小学校では、本年度、新しい委員会ができました。その名は「アロハ委員会」この委員会は、湯梨浜町のよいところを見つけて多くの人に知ってもらったり、町をもっと元気にしたりすること、日頃お世話になっている地域に貢献することを目的に活動していきます。

5月の活動で、学校周辺の清掃活動を行いました。30分ほどの活動でゴミ袋4杯分のゴミが集まりました。

現在、新型コロナウイルス拡大防止のため、飲食店や旅館などの営業の自粛が続いています。子どもたちから、湯梨浜町をもっと元気にするために「ポスターを作ってお店の人を元気にしたい」、「CMを作って、多くの人に湯梨浜町のよさを知ってもらいたい」など、たくさんの意見が出ました。羽合小学校からあったかい風を吹かそうと思います。